

注 意 報

令和8年度農作物病虫害発生予察注意報 第1号

令和8年5月20日付
奈良県病虫害防除所

病虫害名：果樹カメムシ類

(チャバネアオカメムシ・クサギカメムシ・ツヤアオカメムシ)

作物名：ウメ・モモ・ナシ・カキ・ブドウ・カンキツ

対象地域：奈良県全域

発生時期：5月～8月

発生量：多い

1. 発表の根拠

- (1) 県内18カ所で実施したチャバネアオカメムシの越冬量調査の結果、越冬成虫は17カ所の調査地点で確認され、越冬確認率は94%でした。また、越冬量は地点あたり平均10.6頭と多くなりました(図)。
- (2) 5月7～11日にサクラ、クワ樹への寄生状況について巡回調査を行った結果、チャバネアオカメムシの寄生が多く、調査地点で確認され、寄生樹率は77%でした。これは、前回発生が多かった令和6年の寄生樹率52%を上回っています。また、調査地点における平均虫数は3.4頭と、前回発生が多かった令和6年の3.8頭と同程度となっています。
- (3) 果樹・薬草研究所の予察灯では1日あたり誘殺数が400頭を超える日が見られる状況となっていますが、県内各地の誘殺灯では、誘殺数が少ない場所もあり調査場所によりばらつきが大きくなっています。

2. 防除上の注意事項

- (1) カメムシの飛来は気温と密接な関係があり、最低気温が高く、蒸し暑く感じる夜は特に注意が必要です。こまめに園地を見回り、果実への被害が懸念される時期に、新しい被害やカメムシを確認した場合は、防除を行って下さい。
- (2) カメムシの飛来には園地間差が大きく、山際の園地や過去にカメムシ被害が多かった園地では特に注意して下さい。
- (3) 飛来がない園での予防的薬剤散布は効果が期待できず、天敵の減少によってカイガラムシ類、ハダニ類の増加につながるなど弊害が大きいため控えて下さい。
- (4) 黄色灯を点灯できる圃場では早急に点灯して下さい。ただし、チャバネアオカメムシ以外には効果がないので、光源近くや園内でクサギカメムシやツヤアオカメムシが目立つ場合は薬剤防除が必要です。また、電撃殺虫器、果樹園に面した蛍光灯などの光源はカメムシを誘引するので、できる限り消灯して下さい。
- (5) 5月～6月は、ウメおよびナシ、モモの幼果が被害を受けやすく、ナシ、モモの有袋栽培では袋かけを早めに終わるようにして下さい。カキ園には6月下旬(幼果期)以降飛来が多くなりますので、今後の予察情報に十分注意して下さい。

- (6) 農薬散布時には隣接する農作物に飛散しないように十分注意して下さい。また、農薬使用前にはラベルをよく読み、記載された使用条件を遵守して下さい。
- (7) 5月下旬までは、甘柿の園地に受粉用のミツバチが放飼され、農薬散布ができない地域もありますので、薬剤防除を行う際には注意してください。

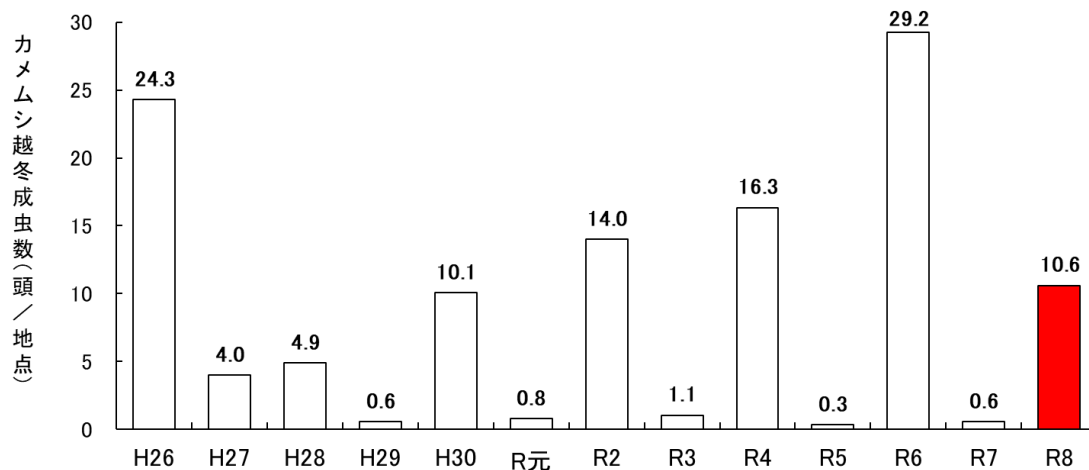


図 チャバネアオカメムシ越冬量の年次変動

表 カメムシ類の主な防除薬剤

	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	系統名
ウメ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	
スモモ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	3回以内	
	アグロスリン水和剤	1000倍	収穫前日まで	2回以内	ピレスロイド系
モモ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	アドマイヤー顆粒水和剤	5000～10000倍	収穫3日前まで※	2回以内	
	モスピラン顆粒水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	ピレスロイド系
	アグロスリン水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	5回以内	
ナシ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	アドマイヤー顆粒水和剤	5000～10000倍	収穫3日前まで※	2回以内	
	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	ピレスロイド系
	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	
	ロディー水和剤	1000倍	収穫前日まで	2回以内	
	テルスターフロアブル	3000～6000倍	収穫前日まで	2回以内	
カキ	アグロスリン水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	
	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前まで	3回以内	ピレスロイド系
	アグロスリン水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内	
	キラップフロアブル	2000倍	収穫7日前まで (ウメ隣接園では 収穫後に使用可)	2回以内	
ブドウ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	
カンキツ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	
	テルスターフロアブル	3000～6000倍	収穫前日まで	3回以内	ピレスロイド系
	アグロスリン水和剤	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	

※但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く

注1) 登録内容は令和8年5月12日時点のものです。農業使用前にはラベルをよく読み、記載された使用条件を遵守して下さい。

注2) ウメ、スモモについては小粒核果類で登録があります。

<p>お問い合わせは</p> <p>奈良県農業総合研究センター 環境・病害虫防除科 (奈良県病害虫防除所) TEL. 0744-47-4481</p> <p>その他関連情報は以下をご覧ください</p> <p>病害虫防除所ホームページ https://www.pref.nara.lg.jp/n128/1557.html</p>
